技術について —Technology—

当社では金型の設計から成形・塗装・蒸着・二次加工・出荷まで社内完結の一貫生産を行っております。社内で製品のコーディネートすることで工程上の無駄を省き、低コスト・短納期・高品質を実現、お客様への負担も軽減することができます。
また近年では、電子機器の軽量化・薄型化に伴い、プラスチックと金属を併用したデザインが多くなりました。金属装飾の需要が増えてきたため、当社では2009年より金属素材へも一貫加工ができるよう金属加工（切削・プレス・塗装）を開始。プラスチックと金属、それぞれの特性を生かしデザイン性に富んだ加飾をご提案致します。

塗装

- クリア塗装
- カラー塗装
- 社内調色
- スピンドルライン

蒸着

- 加飾蒸着
- マルチコート
- 蒸着重合
- EMIシールド

二次加工

- レーザーマーキング
- 色入れ
- 印刷
- ASSY・検査

金属加工

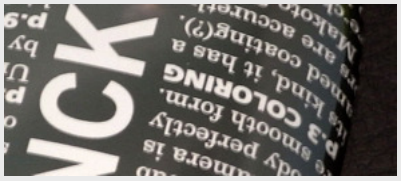
プレス、旋盤切削、MS加工などの加工を製品（デジタルカメラ・携帯電話など）の外装に使用される金属部品に施します。アルミ・ステンレス・真鍮の材料を日本／中国／韓国／台湾より調達し、日本品質にて加工、また表面処理としてアルミ特有の加飾法であるアルマイトの他、メッキ、金属塗装、印刷（パッド＆シルク）、レーザー、色入れも行います。
※金属加工は中国中山工場にて行っております。

射出成形

外装部品への用途が多いクリア樹脂、インフラ事業へ幅広く調整可能な塩ビ樹脂の成形を行っております。
製品及び治具については自社にて金型設計を行っておりますので、ご要求について細かな対応が可能です。
製品形状はもちろん、肉薄なシート成形技術も有しておりますので、切削などの次工程にも対応でき、多面付けによる量産性も確保されています。

デザイン開発

東京オフィスのCMFデザイン室では樹脂や金属といった外装部品への加飾方法や表現のご提案、まだ設計図のないお客様が頭の中で描いているイメージを形にする工程構築と材料選定、量産を見据えた試作段階での問題点の改善など、加飾でのお悩みをサポート致します。



04 型製作

お客様と当社金型設計者とで綿密にお打ち合わせをさせていただき、型製作をスタート致します。
特に加飾を伴う製品の場合は次工程も視野に入れ、寸法問題が生じないよう、予めご説明さし上げ、型へ反映します。

05 素材加工

お客様ご指定の樹脂材料にて製品の成形、合わせて治具の成形を行います。
当社では用途別に成型機を使い分け、透明樹脂も成形できる整った環境で作業を行います。
また素材が金属の場合は切削・プレスを行い製品を象っていきます。

06 加飾工程

精密な膜厚管理と意匠性の高い塗膜を形成する塗装技術がベースにあり、塗料も社内の厳しい評価に合格した塗料を選定使用、そのバリエーションも豊富です。
導通・非導通・多層膜など外観はもちろん機能的にも優れた蒸着膜の形成技術。強度・色彩に優れたアルマイトによる金属加飾。素材ごとに適正な方法で加飾を行います。

07 二次加工

印刷（パッド/スクリーン）やレーザーマーキング、ダイヤカットなど、外観加飾における二次加工にも対応。特にレーザー技術においてはその精度を高くご評価いただいております。
単品部品に限らず、社内でのASSY他、検査のお仕事もお受けしております。